上野西部地区住民自治協議会のワークショップと犬山祭保存会訪問

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 犬山祭保存会の主要な説明 | 上野西部自治協のワークショップでの意見・提案 |
| 祭とまちづくり | 祭の継続がまちづくりを支える犬山祭保存会の理念は地域コミュニティをつなぐ、ひきつぐ、ささえるであり、犬山祭をすることは犬山祭保存会の目的ではなく手段です。目的はまちづくりを支える仲間のネットワークを作ることです。 | ・昔あった甘酒のふるまい等を復活する。　・西部自治協のまちづくり計画の見直しを検討する。・西部自治協に天神祭関係の部会を設ける・祭を知っている人が積極的に情報発信する・観光客へのおもてなし・お接待を工夫する・自分の町のだんじり・鬼について良く知る。観光客に自慢できるように。 |
| 担い手育成 | 中高生が将来の犬山祭の担い手若い頃から囃子を聞き、からくりを体験することが次世代の祭人の育成になります。その為、中高校のクラブの指導に伺っています。クラブ活動の発表の場も設けています。 | ・西部自治協で曳き手等応援者を募集する。・伊賀市内の小学校へお囃子体験の出前講座をする。・高校生との交流を考える。女子高生の意見を聞く。・鬼・だんじりの勉強会を開き子ども達に知ってもらう。・祭の歴史などを広く伝えていく。・子どもさんのお囃子演奏会をする。 |
| 保存会組織 | 犬山祭保存会の大切な委員会のリーダーは若手に任せています。犬山祭保存会は一般社団法人で多くの委員会があります。その中で大切なのは企画広報委員会と事務局です。どちらのリーダーも会長が若手を指名しました。 | ・運営事務局の一本化・保存会の法人化と強化・広報担当を若手に任せる・SNSやYouTubeを使える人が進んで発信する・SNS担当を設ける。・人の多い町から少ない町へ人手を回すような融通の利く体制づくり |
| その他 |  | ・祭のチラシを東部や南部地区にも全戸配布する。・土用干しや準備を含むいろんなまつり行事を発信する。・写真・ビデオ等の記録を次世代に残す。・祭のロゴやマスコットを作る。・祭ポスターを園児や小学生から募集する。・ラインスタンプやガチャポングッズを作る・有料観覧席を設ける。・体験版見学ツアー（ガイド付き）・だんじり会館での鬼体験・祭のサポーター制度を導入・鬼と忍者を絡めたグッズの開発・販売・DMOと共同でツアーやコンテンツを作り収益化・空家の活用・駐車場の確保。・祭期間中に滞在型イベントを組む・伊賀鉄道とのコラボで祭や他の伝統を掲示や演奏 |

（注）ワークショップは令和6年８月２９日開催、犬山市犬山祭保存会への訪問は同年９月２２日実施